

ゆう遊刊



H30.5.9
vol.34
発行所
愛親福祉会

お花見

ケアハウス & デイサービス

四月十日(火)にケアハウス、デイサービスで施設内の桜を見ながらお花見を行いました。
今年は例年になく桜の開花が早かった為、まだ肌寒い感じがありましたが、お団子や飲み物をいただきながら満開の桜を楽しみました。
また来年の桜が待ち遠しいですね。



ゆう遊館の桜

特養

特養ではお天気が良い日に施設内を散歩しました。
満開の桜に皆様の顔もほころび、楽しいひと時を過ごされていました。
また、中庭のチューリップもきれいに咲き並び、地域交流スペースでも入所者様の目を楽しませていました。



チューリップが咲きました。



行事いろいろ

H30年1月1日～H30年3月31日

デイサービス ケアハウス



2/1 節分

須賀川弓道会様に
鬼の面を射て頂きました！



2/13 お寿司の日

握りたてのお寿司は
美味しかったですね♪



1/23 鍋パーティー

班ごとに色々な種類の
鍋を作りました！



2/9 バレンタイン
おやつ作り

チョコフォンデュに挑戦しました！



展望台からの眺めは
素晴らしかったです♪



2/19 市役所見学&
はたけんぼツアー



3/7 ひな祭り
おやつ作り

春の三色蒸しパン、綺麗に出来ました♡



3/20 琴と尺八 春の演奏

春らしい演奏を
ありがとうございました♪



特養



1/30 おやつバイキング

季節のお菓子を
楽しみました♪

1/10 新年会

職員による「よさこい踊り」、
楽しんで頂けたでしょうか？



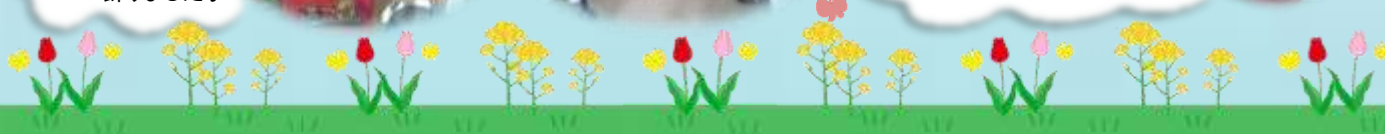
3/2 ひな祭り

今年もお雛様を
飾りました♪



2/2 節分

ユニット毎に鬼退治を行いました！



ご利用者様ものがたり



前田 キヌ子 様

ご家族様 山本啓子様同席

インタビューー

特養 生活相談員 五十嵐安耶香

ー本日はお時間いただきありがとうございます。

ぜひとも93年間のお話を聞かせてください。

前田さん:うなづく(笑顔)

山本さん:宜しくお願いします。

ー長崎県ご出身ということなのですが。

山本さん:60歳位まで諫早にいて、そのあとは埼玉で過ごしていました。

若い時は女学校を出て、仕事で中国に行きましたが戦争が激しくなってきた、長崎に戻ってきて結婚したそうです。

ー終戦前の長崎というと原爆で大変な状況だったのではないのでしょうか？

山本さん:長崎市からはある程度距離があったので被爆はしなかったそうですが、妹が長崎市にいて被爆したそうです。でも長生きはしましたよ。

ー和裁の先生をやっておられたのですね。

山本さん:呉服屋に生まれるなど小さいころは余裕のある暮らしだったそうだけど、子供を2人育てるのは大変だね、仕事を一生懸命してきた人ですね。晩年は習字や絵、踊りなど多彩な趣味もあったけどね。若い時は今でいうところのキャリアウーマンだったのでしょうね。

ー何かご家族との思い出話がありますか？

山本さん:実はね、思い出話がほとんどないのよ。言い方悪いけど母らしい家庭的な感じはなくて、一言でいうとクール、ベタベタした関係を望まないのよ。仕事ばかりしてきたからね。だから晩年も子供たちに迷惑をかけないような生活を望んでいるんですね。

ー息子様が漫画家として成功されたのはさぞ喜ばれたでしょう。

山本さん:漫画家を目指すときはあまり賛成しなかったそうですよ。でもせめて高校だけは出なさいって言われたそうです。でも描いた漫画を読んだりしましたね、でも感想は言わないの(笑)。今でもね、「漫画描いてるの？」なんて聞いてくるんです。すごく忙しいよと教えるとすごく安心したような事を言うんですね。

ー長崎から須賀川市へ来られて、ご苦労もあったのではないのでしょうか。

山本さん:最初はそうですね、まずは味付けが合わなかったそうなの。あつちは麦味噌でしょう、甘い味付けが好きだね。あと諫早は魚も新鮮なところだったからね。でも、家族には言っても職員さんには言わなかったでしょ？周りに迷惑をかけない人だからね。

===前田さんが眠そうにされた為、後日ご本人へインタビューを再開した===

ー(前田さんが描かれた猫と白柳の絵について)いつ頃描かれたのでしょうか？

前田さん:もう覚えとらん、描いている時は夢中でやってるからね。ろっぺい(猫の名前)動くから難しいねん。

ー子育てについて伺う。

前田さん:自分がでけんことは言わん。(息子は)今何しとんの？

ー漫画のお仕事をされていますよ。

前田さん:じゃあいい(笑顔)。

ー本日はお話をしてくださいましてありがとうございました。これからもお元気にゆう遊館でお過ごしください。

前田さん:(笑顔)

※山本おさむ氏

作品:遥かなる甲子園など多数。現在、赤狩り(ビッグコミックオリジナル)連載中。

ご紹介

大正14年1月21日 93歳
長崎県諫早市出身

平成19年よりケアハウスに入居されてから11年間お世話させていただいています。

長崎県諫早市

人口:13万6千人 長崎県第3位の都市 特産品は米おこし、ウナギなど。体操の内村航平氏、俳優の役所広司氏の出身地でもある。



絵、習字、踊りなど多彩な趣味をお持ちです。



平成30年度 入社式



四月二日(月)に入社式及び辞令交付式を行いました。今年度は介護職員四名が入社しました。
三週間の各事業所での研修や先輩職員との座談会を通して、知識や技能を習得し、今後働いていく上での目標を見つけることができたようでした。
四名は特別養護老人ホームの各ユニットにそれぞれ配属されました。若いパワーでがんばります。どうぞ、よろしくお願い致します。



職員スポーツ交流会



五月二日(水)
職員のスポーツ
交流会があり、
バレーボールや卓球、
バドミントン等で軽く体を
動かしながら汗を流し、リ
フレッシュしました。



新入職員代表
根本 莉里華

私は三週間の貴重な研修を終えて社
会人になるための心構えが出来ました。
今まで福祉や介護に関する専門的なこ
とを学んだことがなく、とても不安で
した。しかし、研修で介護についてだ
けではなく、社会人としてのビジネス
マナーなどを学び、入社前の漠然とし
た不安や疑問を一つ一つ、丁寧に回答
して頂くことによって、介護員として
働くことの不安が楽しみに変化してい
きました。
私の目標は、ご利用者様が悲しい時
や辛い時にそっと寄り添い、手を差し
伸べられるような介護員になることだ
す。その目標を達成するために研修で
学んだことを活かし、ご利用者様一人
ひとりと向き合い、充実した生活を
送っていただけるよう、しっかりとサ
ポートしていきたいです。

研修を終えて

編集後記

今年の四月は夏日になったり、肌寒
い日が続いたり、寒暖の差が激しく、
体調を崩しやすい毎日でしたが、皆様
いかがお過ごしでしょうか。
例年になく桜の開花が早く、満開に
なったかと思えば、雨や風の影響で桜
の季節もあっという間でしたね。今年
は天候等の関係で残念ながら、ゆう遊
館の桜まつり開催とはなりませんで
した。来年の桜、楽しみですね。
今年度も「ゆう遊刊」を通して、
「ゆう遊館」をお伝えしていきますの
で、よろしく願います。

根本 きくみ

●広報委員●

小西 秀明
「桜の早い開花に行事企画が間に合
わず反省です。」
仲田 真理
「桜があっという間に散ってしまい、
花見ができませんでした。」
大越 恵美
「花の苗を植えました。土の感触と
キレイな色に癒されます。」
五十嵐 安耶香
「ゆう遊館の桜を見たり、釈迦堂川
の散歩で花見を楽しみました。」
吉田 奈津希
「桜の次はもう梅雨の話題ですね。
季節の変化についていけません。」